

問1 世界史と日本史の年代を照らし合わせたとき、7世紀の出来事の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 千葉県公立入試 類似）

- ムハンマドによるイスラム教の成立と、日本での「大化」の元号の使用
- イエスによるキリスト教の成立と、日本での仏教の伝来
- シャカによる仏教の創始と、日本での稲作の普及
- 孔子による儒教の成立と、日本での古墳の築造

問2 古代中国の殷王朝において、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた文字（甲骨文字）が使用されていた目的や背景として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 大阪公立入試 類似）

- 農作物の収穫や戦争などの国家の重要事項を決定するために、神意を問う占いをを行った結果を記録した。
- メソポタミア文明から伝わった文字を改良し、王の権力を周辺諸国に誇示するための行政文書として用いた。
- 秦の始皇帝が中国を統一した際、各地で異なっていた言語や度量衡を統一するための基準として作成した。
- 青銅器の表面に鑄造することで、王朝の歴史や先祖への感謝を後世に伝えるための記念碑として使用した。

問3 15世紀末のヨーロッパで作られた地球儀には描かれていなかった南アメリカ大陸で、独自の発展を遂げたインカ帝国の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2026年 大阪公立入試 類似）

- アンデス山脈の厳しい自然環境に適応するため、高地の斜面に段々畑を造り、高度な石造技術を用いた都市を建設した。
- メキシコ高原を中心に、巨大なピラミッド型神殿を持つテノチティランを首都として栄えたが、スペイン人に滅ぼされた。
- ユカタン半島を中心に、高度な天文学や数学を発達させ、独自の象形文字や精密な暦を使用する都市国家を形成した。
- 大西洋と地中海を結ぶ交易の中継地として、鉄製の武器や馬車を用いることで広大な領土を支配する中央集権国家を築いた。

問4 奈良時代の日本に、西方のペルシアやインドなどの影響を受けた文化や工芸品がもたらされた背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2014年 沖縄公立入試 類似）

- 遣唐使が派遣されたことで、当時の唐にシルクロードを通じて流入していた国際色豊かな文化や宝物が日本に持ち帰られた。
- 倭の五王が中国の南朝へ使いを送ったことで、東南アジアの島々を経由する「海の道」の貿易が発達になり、工芸品が伝わった。
- 勘合貿易の開始によって、明の文化が琉球王国を経由して平城京に運ばれ、正倉院のような建築物に収められるようになった。
- 朝鮮半島での白村江の戦いに勝利した際、大陸から多くの技術者や文化人が日本に渡来し、西方の高度な工芸技術を伝えた。

問5 古代中国の殷王朝において、甲骨文字が用いられていた背景や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 愛知公立入試 類似）

- 王が占いや祭祀によって神の意志を確認し、政治の重要な決定を下すために使用された。
- 広大な国土を治めるために、民衆に法律を周知させる目的で石碑に刻んで公開された。
- 周辺諸国との貿易において、商品の数量や金額を正確に記録するために作成された。
- 仏教を日本などの近隣諸国へ広める際、経典の内容を翻訳するために発明された。

問6 紀元前3000年ごろ、西アジアのチグリス川とユーフラテス川の流域で栄えた文明は、肥沃な土地を利用して灌漑農業が行われ、粘土板に刻まれる楔形文字などの独自の文化を生み出しました。この文明の名称として正しいものを選択してください。（2018年 高知公立入試 類似）

- メソポタミア文明
- エジプト文明
- インダス文明
- 中国文明

問7 中国の古代文明において、現在の日本の日常生活でも使用されている文字のルーツが登場しました。この文字の成り立ちや当時の状況について述べた文として、正しいものはどれですか。（2015年 長崎県公立入試 類似）

- 殷の時代に、亀の甲羅や動物の骨に占いの結果を刻んだことが始まりである。
- 秦の始皇帝が、エジプトの象形文字を参考にして独自に作り出したものである。
- 漢の時代に、シルクロードを通じて西方から伝わった文字が変化したものである。
- 周の時代に、青銅器の重さを記録するために数字として考案されたものである。

問8 紀元前2500年ごろ、インド亜大陸北西部のインダス川流域に成立した古代文明について、モヘンジョ・ダロやハラッパなどの遺跡に見られる都市の大きな特徴として最も適切なものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）

- 下水道や公衆浴場などが整備された、高度な計画都市が建設された
- 国王の権威を示すために、巨大な石造りのピラミッドや神殿が建設された
- ジググラトと呼ばれる聖塔を中心とした、複数の都市国家が形成された
- 青銅器とともに甲骨文字が用いられ、大規模なかんがい農業が行われた

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ムハンマドによるイスラム教の成立と、日本での「大化」の元号の使用	イスラム教は7世紀に成立し、同じ時期の日本では645年に大化の改新が始まり、日本初の元号である「大化」が制定されました。キリスト教の成立は1世紀（日本は弥生時代）、仏教の成立は紀元前（日本は縄文～弥生移行期）、儒教の成立も紀元前であり、いずれも7世紀の出来事ではありません。
問2	答え 1 農作物の収穫や戦争などの国家の重要事項を決定するために、神意を問う占いをを行った結果を記録した。	古代中国の殷王朝は、宗教的権威によって国を治める「祭政一致」の性格が強い国家でした。甲骨文字は、豊作の祈願、戦争の成否、天候の予測といった政治上の重大な決断を下すための「占い」の内容や結果を記録するために使われました。資料に見られる骨や甲羅の表面に刻まれた細い線のような跡は、神託を記録した当時の公文書としての役割を持っていました。
問3	答え 1 アンデス山脈の厳しい自然環境に適応するため、高地の斜面に段々畑を造り、高度な石造技術を用いた都市を建設した。	インカ帝国は標高の高いアンデス山脈に位置していたため、限られた土地を有効に活用する段々畑の技術や、地震にも耐えるほど精巧な石造建築が特徴です。メキシコ高原で栄えたのはアステカ文明、ユカタン半島で栄えたのはマヤ文明であり、地理的条件や文明の特色によって明確に区別されます。
問4	答え 1 遣唐使が派遣されたことで、当時の唐にシルクロードを通じて流入していた国際色豊かな文化や宝物が日本に持ち帰られた。	奈良時代、日本は唐の進んだ律令制度や文化を学ぶために遣唐使を派遣しました。当時の唐の都である長安は、シルクロードを通じて世界各地から人や物が集まる国際都市でした。そこで育まれた国際的な文化（唐文化）が、遣唐使によって日本に直接もたらされたため、正倉院に代表されるような西方の香り漂う工芸品が日本に残ることとなりました。他の選択肢にある「倭の五王」は古墳時代、「勘合貿易」は室町時代、「白村江の戦い」は日本が敗北した出来事であり、時代背景や事実関係が異なります。
問5	答え 1 王が占いや祭祀によって神の意志を確認し、政治の重要な決定を下すために使用された。	殷の時代は、占いの結果に基づいて政治を行う「神権政治」が行われていました。甲骨文字は、亀の甲羅などを火であぶった際にできるひび割れの形から神の意志を読み取り、その問いかけや結果を記録するために使用されたため、当時の政治と密接に結びついています。
問6	答え 1 メソポタミア文明	チグリス川とユーフラテス川の二つの河川の間位置する地域では、定期的な増水によって運ばれる肥沃な土壌を利用した農業が発展しました。この地域では楔形文字のほかに、太陰暦や六十進法が考案され、その後の文明に大きな影響を与えました。
問7	答え 1 殷の時代に、亀の甲羅や動物の骨に占いの結果を刻んだことが始まりである。	漢字の起源は、紀元前16世紀ごろの殷王朝で使用されていた甲骨文字にあります。当時の王は、祭祀や戦争、農作物の収穫などの成否を占うために、亀の甲羅や牛の骨に溝を彫って焼き、その割れ方で神の意志を判断しました。その結果を同じ骨などに刻み込んだことが、文字として記録を残す文化の始まりとなりました。
問8	答え 1 下水道や公衆浴場などが整備された、高度な計画都市が建設された	インダス文明の代表的な遺跡であるモヘンジョ・ダロやハラッパは、焼成レンガを用いた整然とした街並みが大きな特徴です。特に、網の目のように張り巡らされた排水用の下水道や、共同で利用されたと考えられる大規模な公衆浴場などは、当時の技術水準が極めて高く、都市が極めて計画的に設計されていたことを物語っています。